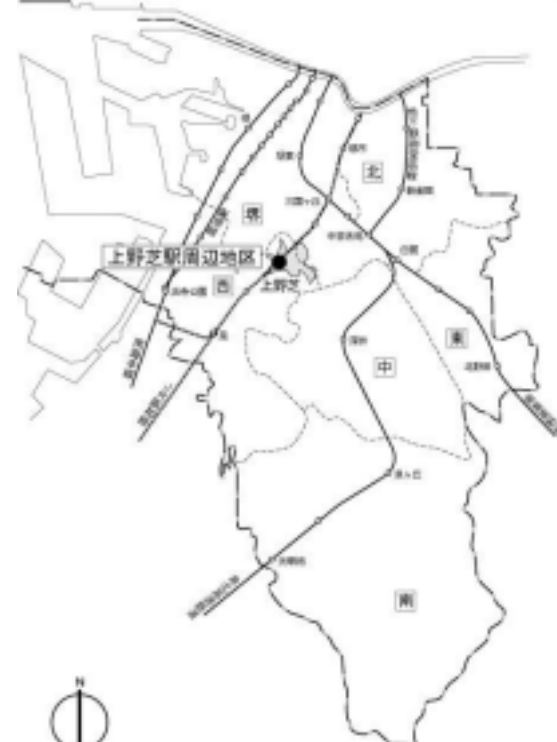
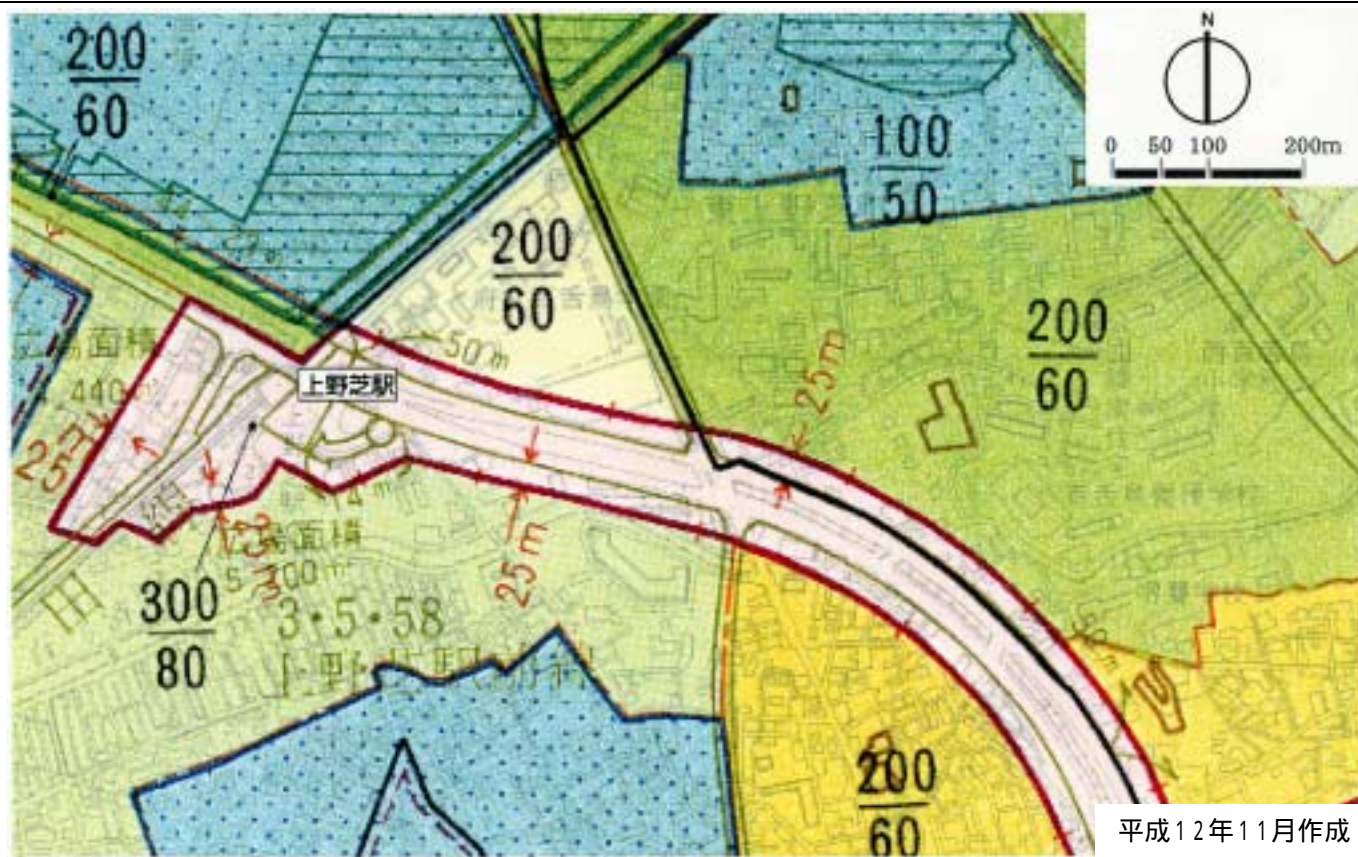


## 1. 地区特性、交通バリアフリー化からみた主な課題

地区特性	
<p><b>【データ】</b></p> <p>1日平均乗降者数……………17,383人/日(実績)</p> <p>高齢者利用者数……………2,045人/日(推定)</p> <p>身体障害者利用者数……………488人/日(推定)</p> <p>注) 高齢者利用者数 = 1日平均乗降者数( ) × 市平均高齢者率 身体障害者利用者数 = 1日平均乗降者数( ) × 市平均身体障害者率</p> <p><b>駅前広場概要</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・面積(東側)……………5,200㎡(既設)</li><li>・バスバース数……………2</li><li>・タクシーバース数……………4</li><li>・面積(西側)……………4,440㎡(計画)</li></ul>	<p><b>【位置図】</b></p> 
<p><b>【地区特性】</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・本地区は、6つの支所区域の内「西地域」に位置している。</li><li>・本地区は、主に戦前から開発された住宅地が広がっており、近年はマンション開発が進んでいる地区である。</li><li>・駅の東側に駅前広場が整備されており、バス停留所が設置されている。</li><li>・駅周辺地区には、市立百舌鳥養護学校、堺聾学校などの障害者施設や医療施設が立地している。</li></ul> <p><b>【交通バリアフリー化からみた主な課題】</b></p> <p><b>鉄道駅</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・駅の構内・構外とものエレベーター等の段差解消施設が未整備であり、現在は、プラットフォームへの専用スロープが設置されている。</li><li>・障害者用のトイレなど、利便施設の整備、案内サインの改良など利便性の高い施設への更新が課題。</li></ul> <p><b>駅前広場</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・駅前広場におけるバス関連施設等の改良。</li></ul> <p><b>道路</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・地形上、一般道路から駅前広場までの高低差がある為、これを解消するための施設整備の検討が課題。</li><li>・地区内の歩道は、狭い箇所が多く、歩道の有効幅員の確保などの検討が課題。</li></ul> <p><b>信号・交差点</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・特定経路における音響信号機等の設置・改良など視覚障害者の横断の安全性の確保の検討。</li></ul>	

用途地域図



建物用途現況

